

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 4 月 17 日作成 第 1.0 版

研究課題名	限局性前立腺癌に対する小線源療法が男性性機能に与える影響を検討する観察研究
研究の対象	2012 年 3 月から 2024 年 2 月の間に横浜市立大学附属病院において限局性前立腺癌と診断され、小線源治療を受けた患者さんを対象とします。
研究の目的	前立腺癌の患者さんは近年増加傾向であり、根治治療として手術、放射線治療が行われています。放射線治療のうち小線源治療は身体への負担が少ない治療として選択されることが多いです。今までの報告で小線源治療が男性性機能（勃起、射精）に与える影響は検討されていますが、一定の見解を得られていません。今回の研究では小線源治療が患者さんの男性性機能に及ぼす影響を検討することで今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、小線源治療が男性性機能に与える影響について検討します。いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2025 年 5 月 23 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2025 年 5 月 23 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・ 背景情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、合併症 ・ 小線源治療内容 ・ 性機能アンケート結果 ・ 病理結果 ・ 血液検査の結果：PSA、血算、生化学、凝固等 ・ 画像検査結果 ・ 転帰
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工された情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 泌尿器科 伊藤悠城
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究において資金提供ではなく、関連企業と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 （研究責任者）伊藤悠城
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 泌尿器科 （研究責任者・問い合わせ担当者）伊藤悠城 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2931	